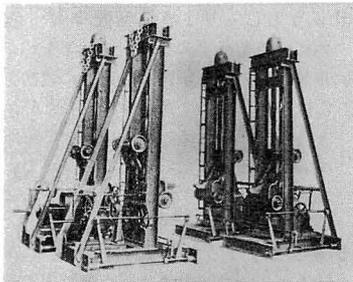


はならないし、また通路線などは輸送量その他に適合した勾配でなければならない。しかし機回線、電車の出入区線などでは35%まで採ってさしつかえない。——平面交差。(安河内麻雄・鈴木幸二・矢島庄作)

**リード** (英) lead ビストンが行程の終端にあるとき、ビストン弁または滑弁が、蒸気口を開く大きさをいう。ワルシャート式弁装置においては、リードはクロスヘッドと併せてこの運動によって伝えられるもので、カットオフ(縮切)の大小にかかわらず一定であるが、宇佐見式弁装置はバリエブル・リードになっており、カットオフの大小によって変化するものである。ビストンはリードの働きによって、行程の終端に達する前に反対側にすでに給気して、後行程の準備をなし、なお給気口の開きを大にして蒸気のワイヤ・ドローイングを少なくし、排気の圧縮とあわせてビストンの返り行程を容易にするものである。

(野村正義)

**リフティングジャッキ** (英) lifting jack 電気機関車・炭水車・客車・貨車および電車の修繕の場合に車体の高上装置として使用されるもの。1組は4台のジャッキよりなり、各ジャッキには腕がついていて、これで車体を側方からささえるようになっている。腕には4個のコロがついていて、これでジャッキの柱を左右からはさみ、さらに



リフティングジャッキ

ねじ棒の回転の方向により上下するナットの上のっている。各ジャッキは車両の形式によりささえる位置が異なるので、これに合わせるために柱に小さな車輪がついていて、台枠(わく)上を車両の長手方向に対し直角に小移動できるようになっている。また台枠自体にも車輪がついていて、車両の長手方向にも移動し得る。この台枠についている車輪にはばねが取付けてあり、荷重が加わると台枠が直接基礎面に当り、車輪には荷重が加わらない。使用の目的により前後いずれかの一对の台枠の車輪を取除いて固定したものもある。この場合でも柱は車両に直角方向に小移動し得るようになっている。腕を上下するためのねじ棒の回転は、それぞれのジャッキに取付けられた駆動装置により行われ、各駆動装置にはそれぞれ1台ずつの電動機がついている。この装置は電動機から平歯車、かさ歯車によりねじ棒を回転させる構造になっている。4台の駆動装置は1つの制御器により操作でき、また1台だけ操作し得るようにもなっている。ナットは2つ割となっていて、ねじ面の検査が便利である。現在の種類は、高上能力60t、40t、および20tの3つでそれぞれの主要機能はつぎのとおりである。

1	60t リフティングジャッキ	荷重	60t (15t×4)
		高上速度	250mm/min
		揚程	1.3 m
		電動機	7.5HP×4
2	40t リフティングジャッキ	荷重	40t (10t×4)
		高上速度	300mm/min
		揚程	1.1 m
		電動機	3HP×4
3	20t リフティングジャッキ	荷重	20t (5t×4)
		高上速度	300mm/min

揚程	1.15m
電動機	2HP×4

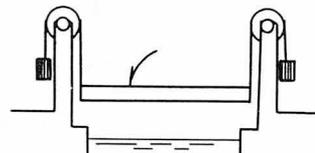
(井田緑朗)

**リフトブリッジ** (英) lift bridge (独) Hubbrücke (仏) pont levant 港湾地帯に至る臨港線は、地平式で舟運の便ある水路・運河を横断する機会が多い。したがって船の通行に支障のないような橋梁を架設しなければならない。この様式の1つにリフトブリッジ(上昇橋)がある。すなわち水路運河を横断する数径間のうち、船の通る中央径間または主径間の両端に塔を

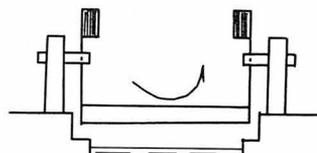
リフトブリッジ

名 称 橋 形

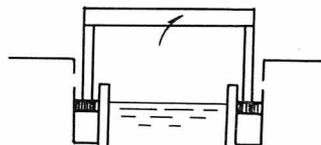
ケーブル上昇橋  
CABLE L. B.



てこ上昇橋  
LEVER L. B.



ピストン上昇橋  
PISTON L. B.



設け、その頂上に滑車を取りつけ、その滑車をまたいだワイヤには片方におもりを、片方に橋けたを取りつけバランスをとり、船のとおるとき、けたを上につり上げ通行に支障のないようにした橋梁である。

特殊のものとしてケーブルを利用しないで、てこの理を応用し、てこが鉄塔上にあつて、それで橋けたを引上げる方式、あるいはピストンを利用して橋けたを上方に突上げる方式のものがある。——可動橋。(梶田 功)

**リモートコントロール** (英) remote control 遠隔制御または遠方制御とも呼ばれ、種々な機器を遠隔の地から制御すること。これは遠方制御面に採用され、制御方法も多種多様であるが、ここでは信号保安関係装置に限定してのべる。\* 継電運動装置における制御盤を遠隔の他の駅または信号扱所に設備し、被制御物に対する意思の伝達を、電線のみまたは少数の電線と継電器群とによって行うようにしたもので、人件費等の節約のほか運転能率の向上そのほかの利得をねらったものである。信号機・転轍(てんでつ)器等をリモートコントロールする方法には種々あつて、単に制御・表示等の線条を延長したもので、数本の線条により選別コードを用いるもの、これらの中間的なもの等に区分されるが、設備の内容・距離・設備等によって定められるものである。

選別コード式の一種について動作その他の概要を記すとつぎのとおりである。制御所に制御盤および発信継電器群を置き、被制御所に受信継電器群および表示発信継電器群を置いて、この間を電線3条をもって接続する。制御所において制御盤のてこを取扱って始動押ボタンを押すと、所定のコードを発信し、